

留学だより No.10(5月)

皆さん、こんにちは。戸塚です。ついに、こうして留学だよりを書くのも最後となりました。今、留学生生活を振り返りながら、日本からこの留学だよりを書いています。

今回は、いつものような何かの紹介ではないので、文字ばかりになってしまいますが、最後まで読んでいただけると嬉しいです。

(1) 学校最終日

Easter Break 明けの学校は通常授業が 4 週間、そして最後の 1 週間がテスト週間と、本当にあつという間でした。というわけで、私の学校最終日は 5 月 27 日でした。もう二度とアイルランドで学校に登校しない、友達や先生方に会う機会もないということを改めて考えると未だに信じられません。最後の 1 週間で、自分で用意した大きなアイルランド国旗にいろいろな人からのサインを集めたので、自分の寝室に飾ろうと思っています。私もびっくりしたのですが、私が 10 か月しかアイルランドにステイすることを知らなかった人も割りといたため、それを伝えると、みんなが”We’ll miss you”と言いながらハグをしてくれて、それと同時に私も何だかとても悲しくなりました。

アイルランドの学校は日本のようにテスト後の短縮授業はなく、テストと同時に学校も終了します。私は留学中の成績証明書を特別に発行してもらいましたが、ある先生によると、今回のテストの結果を生徒から聞かれたことは一度もないそうです(笑)。また今回のテストは学年末の締めテストということもあり、1 科目 90 分ずつでした。自分が選択している科目のテストが連続していると 3 時間通しになるので、とても疲れました。

そして日本と違い、夏休みは School Year の間ではなく、今の学年と次の学年の間にあるので、宿題というものはなく、3 か月というかなり長い休みを満喫することができます。とはいえ、さすがに 3 か月はすることがないようで、多くの人は家の近くのスーパーなどでアルバイトをするそうです。

(2) ビーチ



学校の最終日から帰国日までの 1 週間のフリータイムで何度か Galway のビーチを訪れ

る機会がありました。ここは Salthill と呼ばれ、Galway で一番人気の観光スポットだと私は思っています。写真のように水は青く、とても澄んでいて本当に綺麗です。昨年の夏にも実際に海に入ったので、今回はそれ以来となりました。まだ 6 月上旬であったのにも関わらず、たくさんの方が訪れていましたが、やはり水は少し冷たかったです。しかし、私のお気に入りの場所の 1 つでもあるので、最後に行くことができて良かったです。

(3) 日本へ!!



ダブリンから羽田へのフライトは往路と同様にロンドンでの乗り継ぎでしたが、今回はウクライナでの戦争の関係で少し遠回りをした左の写真のような空路だったので、ロンドンからは往路より 2 時間長い 14 時間かかりました。空港で飛行機を待っている際は周りで日本語がたくさん聞こえてきてとても不思議な気持ちになりました。また、日本で働いているビジネスマンの他にも、観光を目的としたように見える子ども連れの家族もいて、観光客で溢れかえ

った日本がいつの日か戻ればいいなと思いました。その後、ロンドンから羽田に私のスーツケースが届いていないというハプニングも発生しましたが、なんとか家に帰ることはできました(笑)。スーツケースは後日、ロンドンで発見され、発送されました。

長いようで短かった留学生活がついに終了し、日本に帰国しました。私は今回の留学を通して、英語力の向上だけでなく、人として大きく成長することができたと感じています。もちろん全てが上手くいったわけではなく、今少し思い返すだけでもすでに後悔していることはいくつかあるのですが、留學生活の終わりをこうして迎えることができた自分を誇りに思います。何年か前までは海外なんて選択肢にすらありませんでしたが、今は将来もう一度海外で何かに挑戦してみたいと考えています。しかし、この 1 度のチャンスですら全員が手に入れられるものではないということは十分に理解しています。今回の私の留学に協力してくれた両親やエージェンツの方のサポートに感謝すると同時に、留学に行っていない人にも何らかの形でこの体験を還元していきたいです。

もし、また海外に挑戦する機会をいただくことができれば、今回以上に目標を明確にしてより充実した時間を過ごせるように、そしてそのチャンスをつかめるように、今はまだそのスタート地点に立っていることを忘れずに、これからも努力を続けていきます。